安全データシート

ステンレスアルミクリーナー

SDS No. : 471551
V001.7
改訂: 07. 11. 2024
発行日: 05. 12. 2024

ヘンケルジャパン株式会社

１． 化学物質等及び会社情報

製品コード： 1846942
製品名: ステンレスアルミクリーナー

推奨される用途 ： 洗浄剤

会社名：
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号： +81 (45) 758-1800

２． 危険有害性の要約

GHS分類 ：

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
引火性液体	区分 3	
特定標的臓器毒性 - 反復暴露	区分 2	全身毒性

GHSラベル要素:

絵表示:

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: H226 引火性液体及び蒸気。
H373 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。

安全対策 P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースを取ること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P260 ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置: P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P314 気分が悪いときは，医師の診断/手当てを受けること。
P370+P378 火災の場合：乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。

保管: P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄: P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

３．組成、成分情報

単一製品･混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類
ケイ藻土 61790-53-2	>= 10 - < 20 %	特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2; 吸入 H373
結晶質シリカ 14808-60-7	>= 1 - < 10 %	
モルホリン 110-91-8	>= 0.25 - < 1 %	引火性液体 3 H226 急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 3; 吸入 H331 急性毒性 3; 経皮 H311 皮膚腐食性 1B H314 生殖毒性 2 H361 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

４．応急処置

皮膚にかかった場合： 流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。

眼に入った場合： 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぎ、コップに1～2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

５．火災時の措置

消火方法： 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。

適切な消火剤: 水スプレー（霧）、泡、粉末消火剤または二酸化炭素。

使ってはならない消火剤: 不明

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置: 保護具を着用すること。
自給式呼吸器を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 保護具を着用すること。

8項目の注意を参照すること。

環境に対する注意事項 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 物理的に除去する。

13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

７．取扱い及び保管上の注意

保管:
安全な保管条件:

保管場所および作業部屋の換気が十分行われているようにする。
容器をしっかり密封しておくこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本 許容濃度等

JPISHL OEL
安衛法：作業環境評価基準で定める管理濃度

JPJSOH OEL
日本産業衛生学会：許容濃度

JP NOEL
安衛法：化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
ケイ藻土 [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 3.0/(1.19* (%遊離シリカ) + 1) により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
ケイ藻土		0.5	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
ケイ藻土		2	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
結晶質シリカ		0.03	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
ケイ藻土		3	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
ケイ藻土		10	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
結晶質シリカ		0.025	時間加重平均（TWA）:		ACGIH

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具：

呼吸用保護具: 十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具： 熱溶解物を扱う際は、屈折性の手袋を着用すること。

眼の保護具: 防護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具: 保護具を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体	色：	薄い青
		臭い:	わずかな特異臭
pH：	9.0	融点：	データ無し/対象外
沸点：	該当なし	密度：	0.95 - 1.00 g/cm3
蒸気密度：	データ無し/対象外	蒸気圧:	データ無し/対象外
引火点:	57 ° C (134.6 ° F)		
爆発範囲（下限）:	データ無し/対象外	爆発範囲（上限）:	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度：	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

１０．安定性及び反応性

安定性：

反応性: 意図された目的に使用される場合は、無し

避けるべき条件 湿気を避けること。
水

危険有害な分解生成物： 仕様書に従った使用であれば分解しない。

１１．有害性情報

一般毒性情報: これまでの経験に基づくと、製品の正しい使用および取扱いで害が及ぶことは無い。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
結晶質シリカ	LD50	> 5,050 mg/kg	ラット	指定されていません
モルホリン	LD 50	1.05 g/kg	ラット	
モルホリン	LD50	1,900 mg/kg	ラット	BASF Test
モルホリン	LD 50	1.05 g/kg	ラット	
モルホリン	LD50	1,900 mg/kg	ラット	BASF Test

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
結晶質シリカ	LD50	> 2,000 mg/kg	指定されていません	指定されていません
モルホリン	LD50	500 mg/kg	ウサギ	Draize test
モルホリン	LD50	500 mg/kg	ウサギ	Draize test

急性毒性（吸入）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
モルホリン	LC 0	24 mg/l	吸入	4 h	ラット	
モルホリン	LC50	< 6.9 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
モルホリン	Acute toxicity estimate (ATE)	3 mg/l	蒸気	4 h		専門家の判断
モルホリン	LC 0	24 mg/l	吸入	4 h	ラット	
モルホリン	LC50	< 6.9 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
モルホリン	Acute toxicity estimate (ATE)	3 mg/l	蒸気	4 h		専門家の判断

皮膚腐食性／刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
ケイ藻土	刺激性なし			OECD 439 (In Vitro Skin Irritation: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)
モルホリン	corrosive	3 min	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
モルホリン	corrosive	3 min	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
ケイ藻土	moderately irritating		ニワトリ、卵子、in vitro分析	Hen's Egg Test - Chorioallantoic Membrane (HET-CAM)
モルホリン	corrosive		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
モルホリン	corrosive		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
モルホリン	not sensitising	Buehler test	モルモット	Buehler test
モルホリン	not sensitising	Buehler test	モルモット	Buehler test

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
モルホリン	ambiguous	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Reverse Mutation Test
モルホリン	negative with metabolic activation	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
モルホリン	陰性	sister chromatid exchange assay in mammalian cells	有無		Sister Chromatid Exchange Assay
モルホリン	陰性	DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells in vitro	without		DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells
モルホリン	ambiguous	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Reverse Mutation Test
モルホリン	negative with metabolic activation	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
モルホリン	陰性	sister chromatid exchange assay in mammalian cells	有無		Sister Chromatid Exchange Assay
モルホリン	陰性	DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells in vitro	without		DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells
モルホリン	陰性	oral: gavage		hamster, Syrian	Chromosome Aberration Test
モルホリン	陰性	oral: gavage		hamster, Syrian	Chromosome Aberration Test

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
モルホリン	not carcinogenic	inhalation	52 - 104 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)
モルホリン	not carcinogenic	inhalation	52 - 104 w 6 h/d, 5 d/w	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
モルホリン	NOAEL P 60 mg/kg NOAEL F1 60 mg/kg	one-generation study	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 443 (Extended One-Generation Reproductive Toxicity Study)
モルホリン	NOAEL P 60 mg/kg NOAEL F1 60 mg/kg	one-generation study	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 443 (Extended One-Generation Reproductive Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
モルホリン	LOAEL 500 mg/kg	oral: feed	56 d daily	ラット	指定されていません
モルホリン	LOAEL 500 mg/kg	oral: feed	56 d daily	ラット	指定されていません

誤えん有害性:

データなし

１２．環境影響情報

一般環境有害性情報:
下水管、土壌または水辺に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ケイ藻土	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
結晶質シリカ	LC50	> 1,000 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
モルホリン	LC50	> 100 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
モルホリン	LC50	> 100 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ケイ藻土	EC50	> 10,000 mg/l	24 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
結晶質シリカ	EC50	> 1,000 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
モルホリン	EC50	44.5 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
モルホリン	EC50	44.5 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
モルホリン	NOEC	5 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
モルホリン	NOEC	5 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
結晶質シリカ	EC50	> 1,000 mg/l	72 h	指定されていません	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
モルホリン	EC50	64.63 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
モルホリン	EC10	31.49 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
モルホリン	EC50	64.63 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
モルホリン	EC10	31.49 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ケイ藻土	EC0	10,000 mg/l	30 min		指定されていません
結晶質シリカ	EC0	> 1,000 mg/l	3 h	指定されていません	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
モルホリン	EC20	> 1,000 mg/l	30 min	activated sludge, domestic	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
モルホリン	EC20	> 1,000 mg/l	30 min	activated sludge, domestic	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
モルホリン	inherently biodegradable	aerobic	98 %	31 d	OECD Guideline 302 B (Inherent biodegradability: Zahn-Wellens/EMPA Test)
モルホリン	readily biodegradable	aerobic	93 %	25 d	OECD Guideline 301 E (Ready biodegradability: Modified OECD Screening Test)
モルホリン	inherently biodegradable	aerobic	98 %	31 d	OECD Guideline 302 B (Inherent biodegradability: Zahn-Wellens/EMPA Test)
モルホリン	readily biodegradable	aerobic	93 %	25 d	OECD Guideline 301 E (Ready biodegradability: Modified OECD Screening Test)

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
モルホリン		6 Weeks	25 ° C	鯉 (Cyprinus carpio)	
モルホリン	> 0.3 - 2.8	42 d		Cyprinus carpio	OECD Guideline 305 C (Bioaccumulation: Test for the Degree of Bioconcentration in Fish)
モルホリン		6 Weeks	25 ° C	鯉 (Cyprinus carpio)	
有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
モルホリン		6 Weeks	25 ° C	鯉 (Cyprinus carpio)	
モルホリン	> 0.3 - 2.8	42 d		Cyprinus carpio	OECD Guideline 305 C (Bioaccumulation: Test for the Degree of Bioconcentration in Fish)
モルホリン		6 Weeks	25 ° C	鯉 (Cyprinus carpio)	

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
モルホリン	-2.55	25 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
有害物質	LogPow	温度	試験方法
モルホリン	-2.55	25 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

１３．廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 所轄官庁へ問い合わせの上、必要な前処理を行うこと。

汚染容器包装の廃棄方法:: 洗浄不可能なパッケージは、中の製品と同じ方法で処分すること。

１４．輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 3

Packing group:	III
UN no.:	1268
Label:	3
EmS:	F-E,S-E
Seawater pollutant:	-
Proper shipping name:	PETROLEUM DISTILLATES, N.O.S.

Air transport IATA:

Class:	3
Packing group:	III
Packing instructions (passenger)	355
Packing instructions (cargo)	366
UN no.:	1268
Label:	3
Proper shipping name:	Petroleum distillates, n.o.s.

国内輸送規制:
陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送法法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

１５．適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物	ケイ藻土 結晶質シリカ
名称等を表示すべき有害物	ケイ藻土 結晶質シリカ
特定化学物質第１類物質	該当なし
特定化学物質第２類物質	該当なし
特定化学物質第３類物質	該当なし
特定化学物質特別管理物質	該当なし
第1種有機溶剤等	該当なし
第2種有機溶剤等	該当なし
第3種有機溶剤等	該当なし
変異原性が認められた既存化学物質	該当なし
変異原性が認められた届出物質	該当なし
がん原性物質（ISHL 第 57-1、 57-2 および 57-3条、施行規則条項 第 577-2-3条）	ケイ藻土 結晶質シリカ
皮膚等障害化学物質等	該当なし

消防法	第4類引火性液体,第4類　第2石油類(水溶性)
毒物及び劇物取締法：	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法）：(含有率表示は代表値) (含有率単位が%0 の場合 %0=1/10%)	該当しない

１６．その他の情報

発行日: 05.12.2024

注意::

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。
ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、 明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。
お客様各位、
ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。
SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。
個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。